

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Bianca		
○保護者評価実施期間	2025年1月21日		～ 2025年2月12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	2025年1月21日		～ 2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	言語聴覚士、公認心理士、保育士、理学療法士と現場経験豊富な有資格者の先生を配置している為 お子さんの特性に合わせた集団療育、個別療育の実施が可能な事	施設としてお子さんの特性に合わせた療育を行うという方針のもと、各有資格者の配置しております。 その中でお子さんの特性に合わせた必要な療育支援に取り組んでおります。	職員同士の情報共有を行う事で 色んな有資格者からの観点を入れ お子さんの支援に必要な手段を増やしていき 保護者様にも共有してまいります。
2	保護者様支援に力を入れている事。 横の連携を密にとり、共通認識でのお子さんが関わる施設との協力を行う事で よりお子さんの環境設定と支援に取り組む事ができる。	登園している園や支援に入っている支援者さんと定期的に情報交換や園訪問を行い、 お子さんの現状の把握につとめています。	今後も横の連携と、実際にお子さんの園での活動の様子等もみさせて頂きながら、 その時に必要な適切な療育支援につとめていきます。
3	お子さんの成長過程に合わせたプログラムの設定。 食育等お子さんの学校環境に合わせた療育を行う事で お子さんが学校での生活をスムーズに過ごす事ができるよう生活リズムを整える支援ができる。	毎月現場職員でプログラム構成を話し合い 適切な支援につとめています。	年度が変わったタイミングで、各園の先生や保護者様と連携をとらせていただき、その年度の園での活動等も把握できる限りお子さんがスムーズな園生活が過ごせるようつとめてまいります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	療育場所の広さに制限があり、曜日によっては 集団での活動やサーキット運動等の取り組み、自由遊びの際の展開がしにくい。	施設環境がワンフロアの為	お子さんの利用曜日の年齢に合わせたプログラムの構成の中であたたかい季節は、施設前の公園を使用し 運動系は外で行う等の工夫につとめてまいります。
2	保護者会等の開催の機会が少ない為、 保護者同士の交流の機会が頻繁にない事。	保護者様によっては知られたくない方もおり、 両意見をくみ様子をみていた。	保護者交流を希望する方をヒアリングし まずはそこからの交流の機会をもうけ 保護者様の気持ちに寄り添えるようつとめてまいります。
3	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保出来ていない。	研修の開催の余裕がなく時間の確保が難しかった為	社内での定期研修の確保を行い、 外部研修やZOOM研修等も取り入れ、 職員さんができるだけ受けれる環境設定につとめます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		Bianca		公表日		2025年 3月 21日		利用児童数		2025年 1月 21日		回収数 6	
		チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。		100%	0%	0%	0%						
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。		100%	0%	0%	0%						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。		100%	0%	0%	0%						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。		100%	0%	0%	0%						
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。		83%	17%	0%	0%						
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。		80%	0%	0%	20%						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。		100%	0%	0%	0%						
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。		100%	0%	0%	0%						
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。		83%	17%	0%	0%						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。		100%	0%	0%	0%						
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。		33%	0%	33%	33%	まだ通所して間もないためよくわかりません。	・令和7年度は他事業所との交流を交えた他のお子さんとの関わりを持つ時間を提供いたします。				
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。		100%	0%	0%	0%						
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。		100%	0%	0%	0%						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		67%	33%	0%	0%						
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。		100%	0%	0%	0%						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。		83%	17%	0%	0%						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。		100%	0%	0%	0%						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		0%	33%	33%	33%	まだ通所して間もないためよくわかりません。	・令和7年度は親子参加の活動の企画を定期的にもうけ、保護者様が交流しやすい環境提供にとりくみます。				
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。		83%	17%	0%	0%						
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。		83%	17%	0%	0%						
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。		50%	17%	0%	33%						

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	67%	0%	0%	33%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	100%	0%	0%	0%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	100%	0%	0%	0%		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%	遠方に旅行しても送迎車と同じ色の車に乗ろうとして泣くくらいピアンカが好き	・お子様にそのように思っただき大変嬉しく、最高の誉め言葉です。今後も通所いただくお子様のよりどころとなり安心できる、保護者様に寄り添った支援につとめてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	100%	0%	0%	0%		
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%		

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
Bianca		2025年 3月 21日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	78%	22%	・施設の一部に仕切りし訓練スペースを確保している。	・お子様が集中して、取り組める場所の環境づくりが課題である。時間帯にあわせた、スペース確保をおこないます。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	78%	22%	・関連施設より応援を要請し都度人員を送ってもらっている。 ・急な欠勤が出たらヘルプを呼んでいる。	・引き続きお子様が安全に療育を受けていただけるよう環境設定につとめてまいります。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	78%	22%	・テラスにウッドデッキを敷き詰めてシャボン玉遊びやプール遊びに使用しております。	・可動式の個室空間をつくるなどし、お子様の環境設備の対策をおこないます。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	89%	11%			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	80%	20%	・個室がないのでカーテンで仕切るなど最大限の工夫をおこなっております。 ・マットで囲う事で個別の空間を提供しております。 ・狭小なスペースではあるが工夫してクールダウンや個別が出来るようにしております。	・お子様が集中して、取り組める場所の環境づくりが課題である。時間帯にあわせた、スペース確保をおこないます。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	78%	22%	・施設状況により参加者にむらがあるが、ミーティングを毎日行うよう徹底しております。	・シフトを含めて全職員が参加できる環境づくりが課題になりますが、参加していない職員へのスムーズな情報共有につとめてまいります。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	78%	22%			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	50%	50%	・毎日朝礼を行っており、職員が共有しております。	・全職員が参加できていないため、意見の行き違いが発生してしまうことが課題であります。 全職員が参加できる環境を整えるようにとります。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	33%	67%			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	44%	56%	・朝礼などのミーティングにて話し合いアイデアを出し合ったりしております。	・研修を行うための、時間確保、人員確保が課題であります。参加できない場合の意見の吸い上げやスムーズな情報共有に取り組んでまいります。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	50%	50%	・集団活動は前日に、個別は毎日の連絡帳で報告(保護者)できております。	・施設として支援プログラムの公表を行っており、今後もお子様の成長に合わせた適切な療育支援に励んでまいります。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	50%	50%	・話し合いでコミュニケーション取ることはできております。	・今後もお子さんの成長に合わせたプログラムの立案の話し合いを定期的で開催し、療育の充実に取り組んでまいります。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	89%	11%			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	78%	22%			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	89%	11%	・ミーティングで話し合いをしております。	・今後もお子さんの成長に合わせたプログラムの立案の話し合いを定期的で開催し、療育の充実に取り組んでまいります。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	89%	11%	・保育士、心理士、ST、OTと専門職が多いので多様なプログラムをおこなっております。	・今後もお子さんの成長に合わせたプログラムの立案の話し合いを定期的で開催し、療育の充実に取り組んでまいります。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	78%	22%		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	67%	33%		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	89%	11%		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	67%	33%		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	89%	11%		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	22%	78%		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				・施設状況により参加にむらがある為、今後参加頻度をあげられるようつとめていきます。
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	56%	44%		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	56%	44%		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	78%	22%		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	89%	11%			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%			
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%			
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	33%	67%		・令和7年度は親子参加の活動の企画をもうけ、保護者様が交流しやすい環境提供にとりくみます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	67%	33%		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	33%	67%		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	30%	70%	・月一回避難訓練をおこなっております。	・送迎などについて再考し安全管理の意識をつとめています。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	95%	5%		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	78%	22%		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	67%	33%			